



議会だより

No. 166

発行
令和6年
10月26日(木)



史跡・遺構巡り その6

タブの古木《天然記念物》

高さ約15m、幹まわり6.2mの古木であり、江戸時代、東彼宿を起点にした平戸街道ばたに立ち、樹下に清冽な井戸水が湧いて旅人に安息の樹陰を提供していた。大村郷村記にも謳われている。

(町HPから転記 所在地：数石)

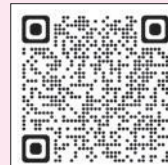
P.2 くじゃく荘などの今後

P.3 令和5年度決算認定

P.8 町へ意見を提出 **10項目**

P.10 アンケート調査結果

P.11 一般質問 **4名が登壇!**



QRコードから
議会ホームページに
アクセスできます。

くじゃく荘・しおさいの湯・キャンプ場・海水浴場の今後はどうなる？

議案を慎重に審議

今後も安心して利用できます！

大崎半島の更なる観光振興に期待！

公共施設等売却・譲渡先および運営権者・指定管理者の審議結果

◎公共の宿くじゃく荘・ ・ 土地（売却）・建物（無償譲渡）
マルゼングループ協同組合および丸善観光開発協同組合

●土地売却額 1億2千万円



建物は無償譲渡

土地は売却

◎川棚大崎温泉 しおさいの湯・ ・ 土地（売却）・建物（無償譲渡）
マルゼングループ協同組合および丸善観光開発協同組合

●土地売却額 1億4千万円



建物は無償譲渡

土地は売却

◎川棚町大崎自然公園 大崎キャンプ場・ ・ 公共施設運営権：FUN BASE 川棚（任意団体）

●管理運営期間
令和7年4月1日～令和12年3月31日

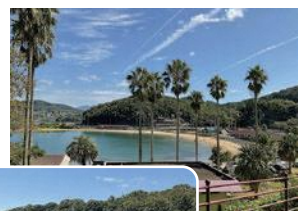


キャンプ場

◎川棚大崎海水浴場・レクリエーション施設（交流広場・テニスコート）
・ ・ 指定管理者：株式会社 ジェイレック

●管理期間
令和7年4月1日～令和10年3月31日

●指定管理料 年間998万円

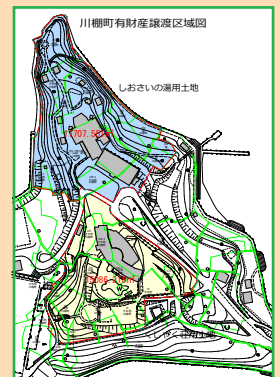


海水浴場・交流広場・テニスコート

※くじゃく園・ ・ 公募に応募がなく、町が直営で管理。公募を検討中。

議会からの意見

町民の皆様はもとより、永く多くの方々に親しまれた施設であるので、指定管理者、新事業者任せではなく、今後公募条件、プレゼンテーションの内容に沿って運営されているか、チェック体制を構築し、町民のため、町発展のため、大崎観光の魅力を発信し、来町者増につながるよう、熱意をもって、令和7年度から新たな形で始まる大崎観光に取り組まれることを期待する。



令和5年度 決算を認定

7会計総額 112億6230万円

使いみちを慎重に審査しました。

(内訳)

令和5年度 決 算 額		
一 般 会 計	69億5270万円	
特別会計	国民健康保険事業	17億2012万円
	後期高齢者医療	2億1422万円
	介護保険事業	13億7241万円
	観光施設事業	2億6352万円
水道事業会計（収益的収入・支出）	3億 634万円	
下水道事業会計（収益的収入・支出）	4億3299万円	
7会計歳出合計	112億6230万円	

※下水道事業会計及び水道事業会計については、収益的支出及び資本的支出の合計額

決算審査特別委員会
での主な質疑

問 滞納が多い税の種類は何か。

答 町民税および法人町民税である。

問 シルバー人材センターの登録者数は減少しているが、契約金額は増えている、その理由は。

答 賃金の上昇による。

問 災害時備蓄品の廃棄処分を防ぐ取り組みは。

答 使用期限をふまえ、希望を募り、自治会へ配布する。

問 農地のB分類が増えているが、農地の集積は進んでいるのか。

答 A、Bに分類されない農地の集積が進んでいる。

問 不登校児童生徒に対し取りこぼしなく対応はおこなわれているのか。

答 スクールソーシャルワーカーにより対応している。

本会議での討論（要旨）・採決

一般会計決算

反対討論 辻議員
ダム事業から撤退すべきとして、反対する。

賛成討論 山口議員
中学3年生の給食費無償化など、子育て支援、社会福祉、インフラ整備など適正であり、かつ2億円を超す赤字決算であるので、賛成する。

**国民健康保険事業
特別会計決算**

反対討論 辻議員
高すぎる保険料が、低年金世帯をより貧困にしているので、反対する。

賛成討論 坂中議員
本町の決算認定を審議しているものであり、制度の可否を審議するものではない。各種事業に積極的に取り組まれており、適正な執行であるので、賛成する。

**後期高齢者医療
特別会計決算**

反対討論 辻議員
高齢者だけに負担増を強いる制度であるので、反対する。

賛成討論 堀田議員
75歳以上の高齢者の医療費負担を軽減するために導入された制度であり、決算は適切に処理されており、賛成する。

**介護保険事業
特別会計決算**

反対討論 辻議員
高い介護保険料負担を強いられるので、反対する。

賛成討論 坂中議員
高齢化社会において介護保険料は必要不可欠であり、適切に執行されており、賛成する。

採決

一般会計決算ほか3件は討論のあと採決の結果、賛成多数により認定しました。観光施設事業特別会計決算ほか2件は、討論はなく全会一致で認定しました。

で徹底審査!!

決算審査

第1分科会 (総務厚生委員会)

一般会計

総務課

【人事関係】

問 職員の年齢構成は、30歳未満が極端に少なくなっているが。

答 若い職員を増やすことは、今後の課題と考えている。職員採用の募集はかけているものの、応募が少ない。

【災害対策費】

問 災害時備蓄品は毎年購入しているのか。

答 令和元年度から毎年購入している。使用期限があるものは期限前に希望をとって自治会に配布予定である。

問 5年度には簡易ベッド20台とパーテーション8台を配備した。河川カメラを4台設置している

答 が、災害時にホームページなどで公開できないか。

答 以前はプライバシー保護の関係で公開していなかったが再度調査する。



河川監視カメラ

税財政課

【税務総務費】

問 滞納理由と対応は。

答 納税意識の欠如が多く、生活費で精一杯、他借入支払を優先するなど、生活改善ができていないことが原因となっている。

対応としては、督促状発送と電話督促等で、訪問交渉は費用対効果の面からおこなっていない。

【賦課徴収費】

問 固定資産管理システム導入に係る委託料が高額であるが、補助金の活用は。

答 デジタル田園都市国家構想交付金1400万円を活用した。

空中写真データや地理情報を搭載した^{*}統合型GISシステム構築で、組織横断的に活用可能となる。また罹災証明の発行も可能となった。

統合型GISシステムとは

地方公共団体が利用する地図データのうち、複数の部局が利用するデータ(例えば道路、街区、建物、河川など)を各部局が共用できる形で整備し、利用していく庁内横断的なシステム。

企画観光課

【寄附金】

問 ふるさと応援寄附金は伸びてきているが、その要因は。

答 従来の寄附と合わせて、令和5年度に実施したガバメントクラウドファンディング事業(猫の不妊化事業・ホッケーイベント)で新規の方の寄附が増加した。

【企画費】

問 事務事業評価で縮小、再検討、その他の内容は。

答 縮小3件は、石木小学校の体育館長寿命化工事、投票用紙自動交付機、いきがいセンターの発電機である。

再検討5件は、未就園児の預かり保育支援、虚空藏山頂案内板、中央公民館トイレ改修、郷土史のデジタル化、片島魚雷発射試験場跡案内パンフレットである。

その他3件は、年末調整システム導入、公会堂の空調システム改修、川棚中学校のアスベスト対策である。



決算審査は所管する課・室等からの説明を受け、慎重な審査を

住民福祉課

問 いきいきタクシー利用券の交付率や利用状況は。

答 対象者2163人で申請者が1045人。交付率48.31%、利用率は56.15%である。

【戸籍住民基本台帳費】

問 マイナンバーカード交付率84.5%となっているが、他市町に比べてどうか。

答 令和6年3月末現在の交付は1万1369枚で、県内21市町で上位4位となっている。
全国平均は74%である。

【障害児福祉事業費】

問 支給対象者が106人から133人と増えているが。

答 放課後等デイサービスの申請数が増加している。
本当に支援が必要な人を取りこぼさないための対応を考えている。

長寿支援課

【シルバー人材センター事業費】

問 シルバー人材センター事業の現況は。

答 登録者数は減少したが、契約金額が増加となっており、運営自体は安定しているようである。

健康推進課

【保健衛生総務費】

問 献血状況で達成率が下がっている要因は。

答 献血目標は県が設定しており、献血車の配車数が半減したためである。

【健康増進費】

問 若年者検診で受診人員は増加しているが、対策は。

答 全年齢対象の栄養講話などをおこなっている。
平日の昼間であるため、若年者が受講しやすい時間帯の検討が必要と考えている。



検診車

特別会計

介護保険事業

【介護予防・日常生活支援総合事業】

問 いきいきパラダイスの成果は。
答 令和5年度からの新規事業であり、現在の登録者数は月曜日30人、火曜日25人である。

「今まで外に出る機会がなかったが、参加して皆さんと話し食事ができ、刺激がある。」との感想が多く、利用者の方には好評である。



川棚町いきがいセンター

国民健康保険事業

後期高齢者医療

特記事項なし

建設文教委員会)



地調査をおこなうなど、慎重な審査をおこないました。

一般会計

農林水産課

【農業委員会】

問 農地利用状況で、B分類が令和4年度から大幅に増加しているが、その要因は。

答 所有者及び耕作者の死亡や高齢化により、未相続の農地が増加した。中山間地が多く、保全管理が難しい農地が増えた。

【農業振興費】

問 鳥獣被害対策として、イノシシの捕獲頭数が減少しているが。

答 イノシシが箱ワナに入らなくなっただとも言われている。また、箱ワナへの妨害行為もあり器物損壊で警察とも連携している。



【水産業振興費】

問 稚ナマコの放流場所と放流数は。

答 10万尾を惣津、三越、白石、平島の沖合に放流した。

白石漁港



惣津漁港



企画観光課

【新型コロナウイルス感染症対策事業費】

問 キャッシュレス推進事業とは。

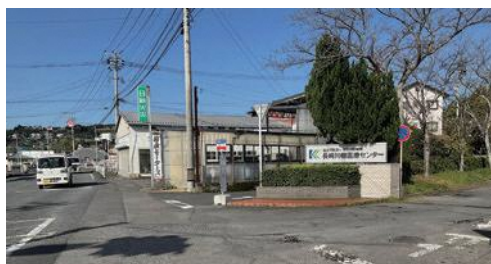
答 感染症対策として、キャッシュレス決済を推進するため、PayPay対応事業者に委託して1239万円相当のポイントを付与した。経済効果は約1億円とみている。

建設課

【道路新設改良費】

問 町道中倉線改良工事物件等の再算定業務とは。

答 川棚医療センター前の交差点改良工事に伴う物件補償の算定が、年数経過により現状に合わなくなったため、再算定した。



長崎川棚医療センター入口付近

ダム対策室

問 知事へ「石木ダム建設の話し合いによる早期解決と地域振興策の要望書」を提出したとあるが、その内容は。

答 地域振興策については、水源地域である木場地区、石木地区、岩屋郷会からの要望を十分に聴き、対応し、欲しいと要望した。

第2分科会（産業）



決算審査は所管する課・室等からの説明を受け、現

教育委員会

【教育総務費】

問 不登校児童生徒の将来の社会的自立に向けた支援をするための未来へつなぐ「確かな一歩」推進事業とは。

答 スポーツ団体サポーター体験（V・ファールン長崎の選手とスタジアム清掃）と、アニメマルトレーナー体験（保護猫カフェで猫の世話）を実施。児童生徒が4名参加した。



保護猫カフェ

問 不登校児童生徒の実態と対策は。また、中学卒業後の進路は。

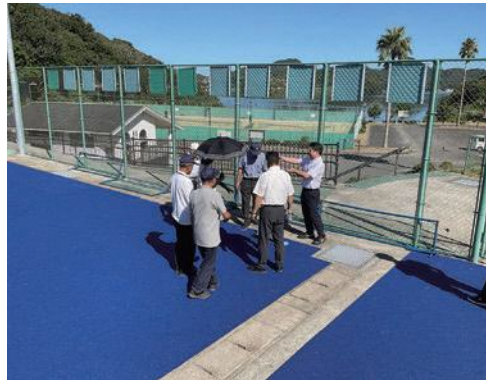
答 小・中学校合わせて37名である。スクールソーシャルワーカーの相談件数は年間全対応件数124件で、そのうち不登校への対応は27件であった。進学したと把握している。



現地調査の様子



基幹農道下白大橋



大崎自然公園交流広場

【学校給食共同調理場費】
問 感染症対策事業費（給食費補助）の内容は。

答 新型コロナウイルス感染症対策事業費により、令和5年10月から令和6年3月まで小中学校全児童生徒を対象に給食費の全額補助をおこなった。

特別・企業会計

観光施設事業

特記事項なし

下水道事業

問 未接続世帯が1297世帯あるが、実態と対応は。

答 現在整備中の惣津地区を含め、下水道整備区域全体での世帯数である。高齢者世帯など接続が厳しい世帯もある。



惣津地区下水道工事

水道事業

特記事項なし

議会から町へ、10項目の意見を提出!(要旨)

ふるさと応援寄付金



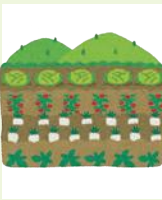
順調に伸びてきており、地元業者との連携を密にし、さらなる展開を期待する。

マイナンバーカード

全国平均を上回っての普及となっており、行政サービスでのさらなる活用を検討されたい。



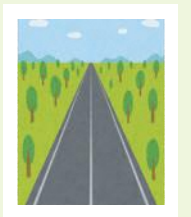
農地の有効活用



農地の集積活動等に努め、荒廃農地が増加しないよう努められたい。

基幹農道等の早期完成

基幹農道川棚西部地区、町道上組西部線、百津地区緑地工事については、着工後年数が経過している。早期完工に努められたい。



石木ダム



「話し合いによる早期解決」に努力されたい。

各種公共工事

地元関係企業を最大限活用されたい。



地区要望環境整備



地区からの環境整備要望については、今後も誠意をもって対応されたい。

災害時備蓄品

災害備蓄品の更新については、使用期限をふまえ、子ども食堂やボランティア団体等での活用を図られたい。



体力向上・交流



体力向上や活動を通じての相互交流を目的として、各種スポーツ事業・レクリエーション活動が開催されているが、参加者が少なく活気が感じられない。多くの町民が参加できるような各種スポーツ事業等のイベントを開催し、活力あるまちづくりに努められたい。

介護予防事業

利用者の評価も高く成果が出てきている。今後も継続した事業の推進に期待する。



人事案件

◎教育委員会委員の任命



水落 雅美氏

全会一致で同意しました。

◎監査委員の選任



堀池 靖彦氏

全会一致で同意しました。

◎人権擁護委員候補者の推薦



松尾 正道氏



山中 美由紀氏



吉田 久美子氏

全会一致で適任と認めました。

令和6年度川棚町補正予算等 専決処分の報告

◎損害賠償の額を定める件（3件）

一般会計補正予算（第2・3回）

損害賠償額に係る補償金

補正予算

◎一般会計補正予算（第4回～6回）

・乗り合いタクシー事業実証実験の

実施に伴う経費

◎国民健康保険事業特別会計

補正予算（第2回）

◎後期高齢者医療特別会計

補正予算（第1回）

◎介護保険事業特別会計

補正予算（第1回）

◎観光施設事業特別会計

補正予算（第1回）

- ・大崎温泉改良費の増
- ・くじやく荘改良費の増

条例の一部改正

◎福祉医療費の支給に関する条例の一

部を改正する条例

◎国民健康保険条例の一部を改正する
条例

請願

件名 「消費税インボイス制度の廃止
を求める請願書」

請願者 東彼民主商工会

事務局長 朽原 明浩 氏

紹介議員 炭谷 猛 議員

賛成討論 辻議員

インボイス制度に登録すれば、赤字
でも消費税を払わなければならないの
で、インボイス制度の廃止に、賛成する。

反対討論 小牟田議員

消費税は、社会保障の財源を確保す
る手段であり、少子高齢化が進む中、
税の公平中立を保ち、社会全体で支え
る制度として必要と考えるので、反対
する。

反対討論 増山議員

請願書に記載されている数値の具体
的根拠が示されない他、消費税を価格
に転嫁できない事業者の説明が不明確
であった。更に、廃止した場合の社会
福祉への影響も想定されていない。税
の公平性は確保されるべきであるので、
反対する。

採決 賛成少数により不採択とすべ
きものと決定

委員会視察調査

委員会で調査の目的に沿っ
て視察調査をおこないまし
た。

◎産業建設文教委員会

期日 令和6年7月23日・
24日

場所 熊本県阿蘇市、
産山村

内容 観光施設の指定管理
の公募等について



委員会調査報告

委員会で閉会中に調査をお
こないました。

◎総務厚生委員会

期日 令和6年5月20日・
19日

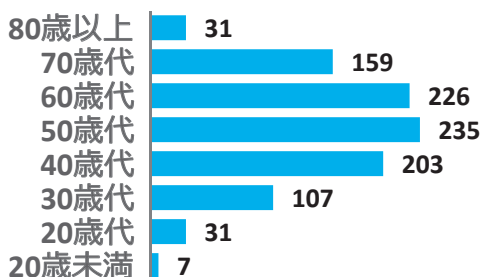
場所 第1委員会室（説明
及び意見交換）

内容 入札制度について

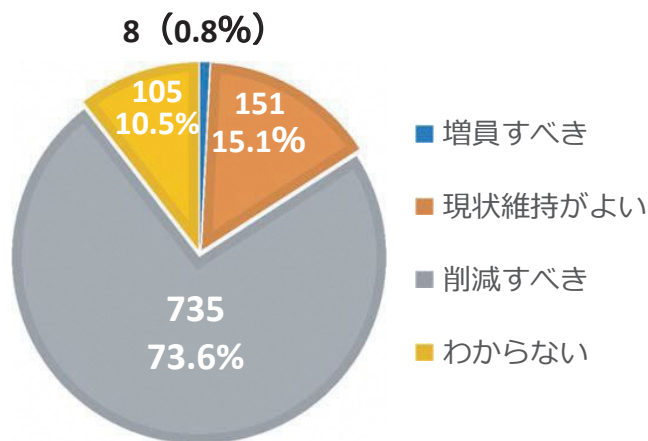
議会の議員定数と報酬等に関するアンケート調査結果概要

【実施期間】令和6年8月5日（月）～25日（日）回答者数】999人

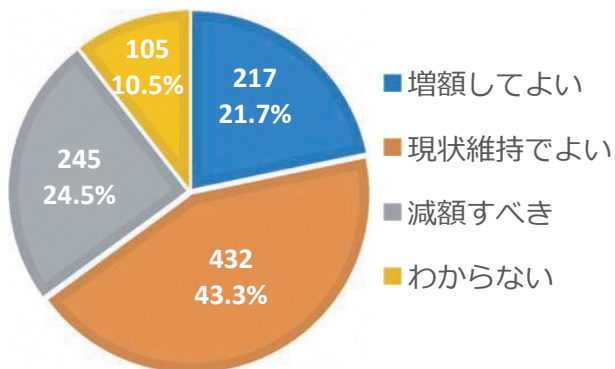
【回答年代】



議員定数（現在14人）について



川棚町の議員報酬（月額22万8千円）について



詳細はこちら



議員定数や報酬について、アンケート結果を参考に他町の状況なども調査しながら検討を重ねます。

☆議会だより読者モニターからの意見、感想、要望（要旨）☆

- 傍聴し議員の質問に対しての行政からの答弁を興味深く聴くことができた。
- 傍聴は高齢者が多く、若い世代も議会を傍聴して町行政に興味をもってもらいたい。
- 表紙は「史跡・遺構巡り」を掲載しているが、もっと親しみやすい表紙にしてはどうか。
- フォントや文字の大きさは見やすいが、難しい文字が並び読む意欲がなくなる。
- 中学生でも読めるような内容ではないと思う。文字の強弱、タイトルのつけ方やレイアウトなどに工夫が必要と思う。
- 具体的な補足があった方が分かりやすいので、QRコードでカバーされてはどうか。

○議会だより編集特別委員会から

ご意見やご感想を参考にして、より親しまれる「議会だより」を目指していきます。



一般質問 4名が登壇!

9月定例会の一般質問は
11日(火)におこないました。

町長の考えを問う!

一般質問
とは…

町政全般の諸課題について、
本会議で町長等に質問する
ものです。

- ① **小田 成実** 議員 (P.12)
○町補助事業補助金交付手続きの簡素化を
- ② **堀池 浩** 議員 (P.13)
○城山公園のトイレ改築を
○带状疱疹ワクチン接種費用の助成を
- ③ **田口 一信** 議員 (P.14)
○石木ダム建設の早期解決を
- ④ **辻 清人** 議員 (P.15)
○石木ダムについて
○保育料の無償化について
○地域防災について

賛否表 9月定例会 ○は賛成 ●は反対 ×は欠席 ーは除斥		審議の結果	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
			議員氏名	堀田一徳	増山真理	山口隆	坂中信浩	炭谷猛	辻清人	毛利喜信	小牟田一紀	堀池浩	田口一信	小田成実	山中美由紀	小谷龍一郎
同意	川棚町教育委員会委員の任命について同意を求める件(1名)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	川棚町監査委員の選任について同意を求める件(1名)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問	人権擁護委員候補者の推薦に関する件(3名)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○
補正 予算	令和6年度川棚町一般会計補正予算(第4回)ほか4件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度川棚町一般会計補正予算(第5回)ほか1件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度川棚町一般会計補正予算(第6回)ほか1件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例	川棚町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例ほか1件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
協定	公の施設の指定管理者の指定の件(川棚大崎自然公園)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	公の施設の公共施設等運営権の設定の件(川棚大崎自然公園)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
契約	町有財産の処分及び無償譲渡について(川棚町大崎保養・宿泊施設)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	町有財産の処分及び無償譲渡について(川棚町大崎温泉施設)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	消費税インボイス制度の廃止を求める請願書	不採択	●	●	●	●	●	×	○	●	●	●	●	●	●	●
決算	令和5年度川棚町一般会計決算認定 ほか3件	認定	○	○	○	○	○	×	●	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度川棚町観光協会施設事業特別会計決算認定 ほか2件	認定	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	和解及び損害賠償の額の決定の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わりません

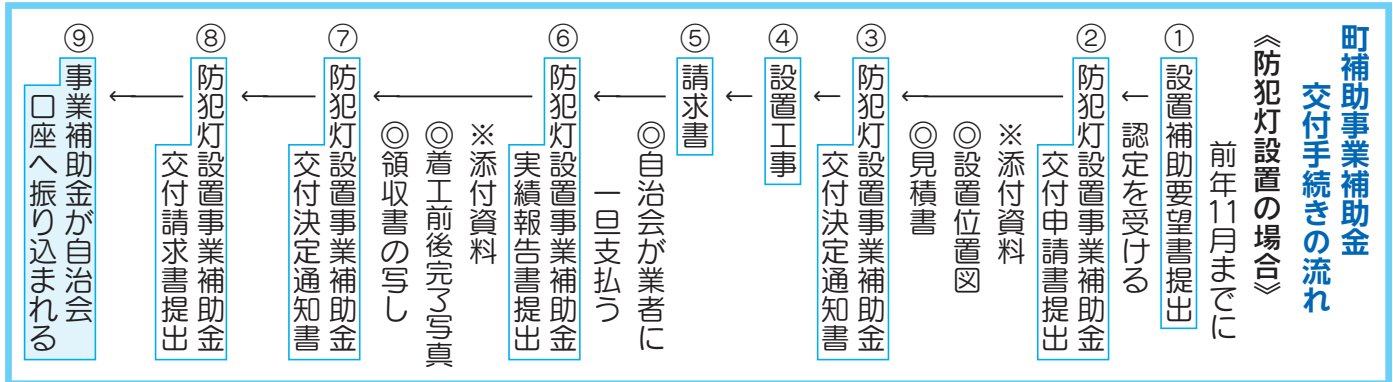
町補助事業補助金交付手続きの簡素化を



小田 成実 議員

町長

要綱を見直し負担軽減をはかる



小田 この様に、手続きが煩雑で、自治会長の負担が大きい。紙面によるやり取りを簡素化できないか。

町長 川棚町補助金等規則第21条の規定により、交付決定通知書や実績報告書を省略できる事業もあるが、川棚町防犯灯設置事業補助金は、現在の要件に該当しない。

しかし自治会長の負担の軽減は、はかられるべきである。一方、補助金等は町民の皆様からお預かりした税金が財源として言われており、公金の適切な支出の観点から、その目的や用途が適正であることを確認する書類も必要であることを踏まえ、補助金等交付規則第21条が適用できるように要綱を見直す。

小田 どのように簡素化するのか。

総務課長 防犯灯について

は、補助要望に予算が付いたことを通知する書面が自治会長に届き次第、業者へ発注可能とし、工事完了後は、補助金交付申請書や、請求書、見積書、工事着工前後の現場写真、領収書の写しを一度に提出していただき、その後自治会口座に振り込みとする。

小田 LINE等電子申請はできないか。

総務課長 今年度、調査し今後電子決済を進めていく。また、防犯灯については今後、電子申請の対応をしていきたいと考えている。

小田 工事代金を町から直接工事業者へ支払うことはできないか。

町長 防犯灯の工事は、自治会と事業者の契約に基づくものであり、事業者は町に対する債権を有していない。町に対する債

権者は、自治会であり、債権者以外への支払いはできない。

小田 年次計画を立て、町内防犯灯をLED化する考えはないか。

町長 自治会には防犯灯が多くあり、年次計画でおこなうと、短期間に多額の財政負担を伴うことになるので、防犯灯の新設時、または修繕時の交換によりLED化する。

総務課長 災害等で多くの交換が必要となった場合は、年度途中での補正がおこなえるよう検討する。

小田 町内防犯灯数を把握すべきではないか。

総務課長 今年度11月の要望の折に、年次計画や補助上限額などの意向調査を含め調査したい。



堀池 浩 議員

城山公園のトイレ改築を

前向きに検討を進めていきたい

町長

城山公園のトイレの建物は古く、女子トイレは洋式化されているが、男子用は旧式のままで使用しにくい。慰霊の塔、ウォーキングや散歩コース、新しくなった遊具もあり、児童の遊び場として多くの町民に活用されている。

堀池 城山公園のトイレは何年に建設され、耐震化となっているのか。

町長 建設から60年が経過している。昭和57年以前の建物であり、新耐震基準の建物ではないが、簡易耐火平屋建てブロック造りの壁構造で開口部も少なく、一般的な構造物に比べ強固な建物になっている。

堀池 トイレ改築の考えはないか。

町長 女子トイレは平成24年度に改修をおこない、和式トイレから洋式トイレへと変更した。おむつ

換えのためのベビーベットの設置もおこなっている。令和4年度に遊具の改修をおこなったことで、現在多くの町民が城山公園を利用されているが、男子トイレは当時のままである。老朽化したトイレの改修・改築の計画を進める必要性は高いと考えており、今年度の事務事業評価を受け、前向きに検討する。



城山公園トイレ

带状疱疹ワクチン接種費用の助成を

堀池 定期接種には、AとBがあるが、違いは何か。

町長 予防接種法に基づき、A類疾病は、発症すると重症化しやすいので、集団予防に重点を置き、接種を受ける努力義務が課せられている。B類疾病は、個人の重症化の予防に重点を置き、本人が接種を希望する場合に実施されるものである。

堀池 带状疱疹予防ワクチンには、生ワクチンと不活化ワクチンの2種類があるが、その違いは何か。

町長 生ワクチンは、病原性を弱めた病原体からできており、接種するとその病気にかかった場合とほぼ同じ免疫力がつくことが期待でき、1回の接種で効果がある。

不活化ワクチンは、感染力を無くした病原体等からできていて、複数回の接種が必要である。

堀池 厚労省専門委員会で定期接種化検討会の進捗を把握されているか。

町長 厚労省専門委員会で、ワクチンの有効性・安全性に係る知見及び費用対効果評価の結果を踏まえ、定期接種とする方向性で議論を整理し、さらに検討を進めることとされている。

堀池 定期接種化前でも、接種費用の助成は検討できないか。

町長 接種費用の助成については、国においても带状疱疹ワクチンを定期接種に用いるワクチンとする方向で丁寧に議論が進められているので、町としては、当面国の議論の進展を見守りたいと考えている。

石木ダムの早期解決を



田口 一信 議員

町長 県・市・町が一体となって
取り組んでいく

町長

本年8月2日に、県の公共事業評価監視委員会において、石木ダム事業は事業継続と事業費を増額および完成時期を令和14年度とすることが承認された。県は、この期間に必ず完成させる強い意志で臨むであろう。

町としても、この期間に是非とも完成するよう、最大限の力を尽くすという強い決意を持つべきではないか。

町長 「石木ダム建設の早期解決」を知事へ要望している。

今後もし引き続き努力していく。

田口 知事を動かす効果的な方策は。

町長 石木ダム建設は、県が事業主体となり進めて

町は協力しているという立場であり、事業者に対し、「知事を動かす効果的な方策を考える」のではなく、話し合いによる解決を願っている。

田口 ダムを受け入れた責任は、すべて町長が持つという考えは。

町長 地球規模の環境の変化により、毎年のように人命や財産が奪われている。

町長として住民の安心・安全を守る義務がある責任があると考える。

田口 地域振興策を早く公表し、町民に具体的なダムのイメージを持つてもらわなければならない。

町長 大石知事は「現在、水源地域の整備計画の策定をおこなっております。素案についてはできるだけ早く公表できるように努力をさせていただきます。

田口 事業計画変更の説明

たいと思っておりますけれども、それにより地域振興策に対する具体的なイメージをお持ちいただいて、石木ダム事業への理解促進につなげていきたいというふうに考えております。」とされており、協議が進められるものと思う。

田口 供託金の消滅時効は。

町長 紛争が解決した時点から消滅時効が進行すると判断している。

消滅時効の起算点は始まっていないものと考えます。

田口 現在の状況を紛争が終わっていないというのは、法律的にはおかしいのではないか。

町長 法的解釈については私個人が判断するものではないと思います、答弁は差し控えます。

田口 事業計画変更の説明

田口 事業計画変更の説明



長崎県が発行したパンフレット

町長 素案ができ次第、県・市・町と連携しながら協議したい。

田口 周辺整備事業はダムの完成年度と同じはず。できる事業から、順次取り掛かっていくという考えは。

町長 説明会の開催が可能であれば、出席依頼を知事に出させていただきます。まずは事務レベルで検討したい。

会を、町主催で行う考えは。



辻 清人 議員

石木ダムについて

知事との話し合いにより
解決することを願う

町長

町民は石木ダム建設の行方に強い関心を持って見守っている。

6月議会の一般質問で、石木ダム建設の現地で130ヶ所のボーリングによる地質調査に対し、町長の答弁は、「数が多いということとで問題があるとは考えておらず、調査結果を開示する考えはない」と答えられているが。

辻 県に対し地質調査の結果や問題点を尋ねることで知識を共有でき、町民も町長自身も安心できるのでは。

町長 現在のところ県から報告はなく、「そのような問題はない」と判断している。

辻 昭和54年6月に元知事が住民に地域振興策について、川棚町に負担を求めないと話されているが、現知事に対しても確約をとる考えはないか。

町長 整備計画事業の負担割合については、県、市、町が協議し、協定書が締結されるものと思っている。

辻 ダム事業費が1.5倍の420億円に増額、完成時期も7年延長された。住民との話し合いも途絶えたままであるが、町長はどう考えるのか。

町長 川原地区にお住いの13世帯の皆様と知事との話し合いにより、解決することを願っている。



石木ダム建設予定地

保育料の無償化について

各市町で保育料の軽減策が図られているなか、子育て世代からの強い要望がある保育料の無償化はできないか。

辻 町長は近隣市町に負けない子育て支援をおこなうと公約に掲げられているが、1歳児から2歳児の保育料の無償化は。

町長 1歳児及び2歳児の保育料も、財政事情を考慮しながら、無償化に向けて段階的に進める。

地域防災について

本町にはため池が55ヶ所あり、防災指定は11ヶ所、残り44ヶ所のため池は地域で管理され、農業用ため池は防災上も重要な役割を担っているが、整備する考えはないか。

辻 ため池の維持管理はどのようにしているのか。

町長 令和元年に施行された法律により農業用ため池の所有者は届出が義務化された。適正管理に努めるよう規定があり、所有者が日常的な管理をおこなう。

辻 管理者が高齢で後継者がいない、ため池の補修や管理の対策は。

町長 防災重点ため池に指定している11ヶ所の農業用ため池を含め、今後の管理も所有者にて実施していただくことになる。



町内各地にあるため池の1つ

「みんなの議会カフェ」のご案内



第1回テーマ「川棚町を元気な町にするには」

開催日時：令和6年11月27日(水) 19:00~20:30

場所：中央公民館 2階講堂

議会と町民のみなさんとの意見交換会として、初めての試みで「みんなの議会カフェ」を開催します。お茶やコーヒーを飲みながらゆっくりと町のことについて語りましょう。

テーマに沿って「もっとこうしたら川棚が元気になるっちゃんないかね」というようなアイデアを出し合って、町の活性化へ向けてみんなで一緒に話し合いましょう！

多くのみなさまのご参加をお待ちしております。



「議会だより」の編集作業は3日間

6人で編集しています



担当ページは
議事録を基にまとめる

文言のまちがいはないか…
この紙面構成でいいか…

入稿原稿を
大型モニターで確認！

全員で確認しながら
訂正をおこなう

事務局職員のアドバイスは心強い！

議場見学会(議場開放)

開催日時：11月10日(日)
午前10時~午後2時

中央公民館玄関で受付
議員が議場へ案内しますので、
お気軽にお声がけ下さい。

12月定例会のお知らせ

12月5日から開催予定です。
予定は地区掲示板に掲示します。
皆さまの傍聴をお待ちしています。

あ
と
が
き

深まる秋、そして冬へと季節は変わっていく中で、平穏な日々であるように願わずにはいられません。

能登地方の地震、豪雨災害で被災された多くの方々の一日も早い復興をお祈りいたします。

議会だよりも読者の皆さまのご意見やご感想を参考に、編集をおこなっています。

一生懸命議会のことを「伝えよう」と努力を重ねていますので、宜しく願います。

(小田)

●9月定例会は、23人の傍聴がありました。

議会だより

編集特別委員会

委員長 小田 成実

副委員長 山中 美由紀

増山 真理

坂中 信浩

辻 清人

小牟田 一紀

発行責任者

議長 村井 達己

No.166

令和6年10月26日発行

発行/川棚町議会

編集/議会だより編集特別委員会

〒859-3692 長崎県東彼杵郡川棚町中組郷1518-1 TEL0956-82-5216(直通) FAX0956-82-3134

Eメールアドレス gikai@town.kawatana.lg.jp

印刷・製本:(株)康真堂印刷